

留学先国名 : 韓国

留学先学校名 : 延世大学

留学期間 : 平成 27 年 9 月 1 日 ~ 平成 31 年 8 月 31 日

私が韓国の大学に入学して 1 年と少しが経過しました。元々私はアメリカの大学への入学に向けて準備していましたが結局韓国の大学へ進学する事になりました。韓国への大学入学は急に決めたので準備も何もせず入学が決まりました。今でもなぜ私がこの大学に入学できたのか不思議です。それくらい韓国語も全くわからない状態で渡韓し、私の大学生活が始まりました。日常会話もちろんままならない状態だったので大学生活どころか日常生活も友達の助けなしでは辛い場面が沢山ありました。語学学校ではなく大学に入学したので韓国語の勉強と大学の授業を併用して聞かなければならないのでこの 1 年は本当に目まぐるしく経過した気がします。1 年半経過した今でも分かる事より分からない事のほうが多いのが現実です。やはり 1 つ言えることは当たり前ですがしっかり準備をするという事です。私は約 1 年間アメリカの大学の準備塾に通って居たのでアメリカの大学に関してはエッセイの書き方やプレゼンの仕方をしっかり学んでいました。先輩もいっちゃうので頼れる手厚い状態でしたが韓国ではアメリカの大学の様にエージェントや学生生活を手助けしてくれる機関がないので生活面は全て自分でしなくてはなりません。

知識ゼロで渡韓した私は何もわからず片っ端から調べ、分からなければ聞いている繰り返しで本当に辛い思いを沢山しました。私の学部は私のような外国人が多いのですが、語学面に関しては韓国語学堂や語学学校で韓国語を少なくとも基礎を勉強してくるのが普通です。私のように韓国語がゼロの状態に来た学生はほんの一握りでほとんどの生徒が韓国語学習と普通の授業の併用について行けなく、辞めたり違う学校に転入しました。日本での韓国の学生のイメージ通り、韓国の学生は大学に入学しても本当に一生懸命勉強します。大学がゴールではなく最終ゴールは就職だからです。いい成績を取らないといい就職先に就職する事が出来ません。授業出席は勿論のこと、課題、発表も沢山あります。ほとんどの授業が相対評価で外国人だからといって甘く評価をされる訳ではありません。正直、学生生活を振り返ると楽しい事より辛い事の方が多いです。なぜ韓国の大学進学を選択してしまったのかと何度も後悔したこともあります。しかし、日本の大学では学ぶ事、感じる事のできないことが沢山あります。残された学生生活、海外の大学に送り出してくれた家族に感謝し、悔いのないように過ごしたいです。そして最後笑顔で卒業という日を迎えたいと思います。